

すわみつえ通信

No.128 2020年6月15日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

市議会

文教福祉常任委員会
6月11日の審査にて

当委員会に付託された案件は、放課後児童クラブ支援員 保育基準・介護保険料等に関する条例改定案と一般会計補正予算の全部で5件です。介護保険条例改定議案に反対をし、補正予算を含む4件に賛成をしました。

委員会においても、コロナ対策として、1時間に15分程度の休憩で室内換気を行い、議員・執行部ともマスク着用を進めました。

消費税増税分で介護保険料引き下げにする議案に反対

「低所得者の方の保険料を下げる」議案になぜ反対するのかと思われませんが、今回の条例改定は介護保険料の第一段階から第三段階の低所得高齢者の保険料軽減を消費税10%引き上げ分で実施するというものです。所得の低い人ほど負担が重くなる消費税を財源とすることが問題です。また、軽減措置のない約7割の方は高い保険料のままで、消費税によらない税金の投入を国に求めること、本市独自の税金の投入で所得に見合った介護保険料に引き下げるべきと強く求めて反対討論を行いました。

2020年度一般会計補正予算議案に賛成

学校休校に伴う給食停止の事業者への補填・放課後児童クラブで特別開室費・保育園休園に伴う給食費返還など、コロナ感染対策のための増額。一方で、毎年実施している中学生の海外派遣の中止やオリンピック・パラリンピック延期に伴う減額があります。

介護事業者へのタブレット端末補助金は入所者と家族の面会制限が続いていることでの不安を軽減するために、オンラインで面会ができるようにするための施策で特養老健グループホーム22施設を対象とするものです。

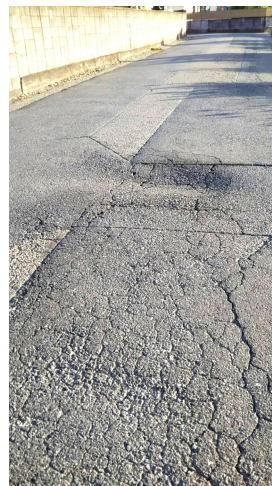
小中学校のオンライン学習を進めるためのパソコン一人1台設置事業として、小学校に2億5167万5千円、中学校に1億3217万5千円が計上されました。ICT教育を実現していくことになります。

鴻巣駅西口での宣伝中に「使って下さい」と手作りマスクが届きました。議場で使わせていただきます!



連絡をいただいた箕田の陥没した道路が直りました

箕田・氷川八幡神社の裏の通り。「通学路で高齢者も通るところ。陥没で怪我するといけない。早く直して」と連絡をいただきました。水道工事に合わせて、きれいになりました。



(写真右) 陥没した道路
(写真左) 改修工事後の道路



俳句コーナー
ジエンダーや
どうだん
満天星の花月明かり
民子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

学びの保障



衆院予算委 6月10日

●一人ひとりの子どもにも丁寧に寄り添い、心のケアにしっかりと取り組む手厚い教育が必要ではないか。「コロナ×」子どもアンケート（パネル5・6）にかつてない不安とストレスを抱えている。子どもたちの心のケアをしっかりと行うことが、学びを進めるうえでの前提になる。

●子どもの実態から出発し、詰込みではない柔軟な教育が大切ではないか。

●子どもたちの学び、心のケア、未来のために10万人の教員増を。教員10万人、スタッフ13万人増の日本教育学会の「提言」―政治が決断を（これにかかる経費は約1兆円）。教員増を中心にしてこそ学びが保障できる。教員的大幅増は、学校における感染拡大防止のうえでも必要不可欠。「身体的距離の確保」を、教室でもしっかりと保障すべきはないか。文部科学省

パネル5 子どもたちの困りごと

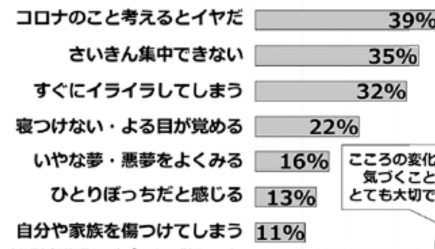
連絡などできていない
41%

- 1位 お友だちと会えない (76%)
- 2位 学校に行けない (64%)
- 3位 外で遊べない (51%)
- 4位 勉強が心配 (50%)
- 5位 体を動かして遊べない (44%)

本当にそうですね！
大切なお友だちと早く会いたいですね

出典：国立成育医療研究センター「コロナ×子どもアンケート」
中間報告（2020年5月12日）より志位和夫事務所が作成

パネル6 こどものころへの影響は？



こどもの回答を集計

出典：国立成育医療研究センター「コロナ×子どもアンケート」
中間報告（2020年5月12日）より志位和夫事務所が作成

出典：国立成育医療研究センター 緊急事態宣言発令中に全国の小中高の子どもを対象とした「コロナ×子どもアンケート」中間報告（5月12日）より志位和夫事務所が作成

子どもたちに少人数学級をプレゼントしよう

ます。過去10年に定年退職された教員は全国で約20万人、そのうち半分ぐらいが教育現場で活躍されていると想定すると、60歳代で約10万人の新たな人材のプールがあるとしています。もう一つは、若い世代で教員免許状をもちながら教職についていない方々です。30代までの世代で数十万の新たな人材のプールがあるとしています。

いま教職員を大幅に増やすことは、直面するコロナ危機に対応するために緊急に求められているとともに、現在の困難を乗り越えたあとに、子どもたちに少人数学級をプレゼントすることになります。希望ある政策になります。この機会に、「ポストコロナ」ということがいろいろと言われる。今日もいろいろな議論をやりました。保健所が足りない。削ってきたことの反省が必要です。医療を削ってきたことの反省が必要です。教育のゆとりをなくしてきたことも反省が必要なんですよ。その転換を、私は、強く求め、そして、子どもたちに少人数学級をプレゼントしようじゃないかということを訴えます。

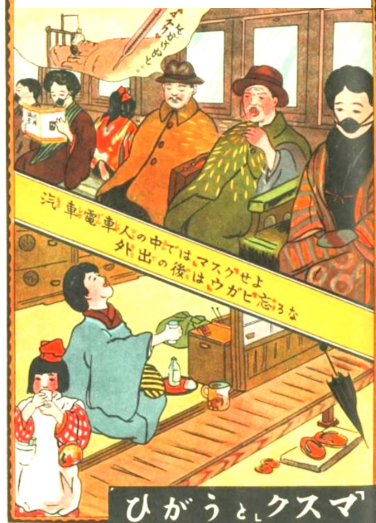
<新型コロナ> 触らず「守っ手」川口の会社開発 つり革など利用に活躍



新型コロナウイルスの感染防止に向け、川口市のプラスチック成形会社「リョウケ」が、つり革などを直接触らずに使える非接触グッズ「守（まも）っ手（て）」を開発した。通勤や営業で電車やバスを利用し、感染への不安を抱える社員の声をヒントに製品化した。

守っ手は抗菌剤を練り込んだ樹脂製。八・五センチ×二センチの手のひらサイズで、つり革やバー式のドアノブにかぶせられる形状だ。上部にあるリングに中指を通し、握るようにして使う。リングには突起が付いており、エレベーターなどのボタンを押すこともできる。インターネットで販売している。【東京新聞 6月7日】

感染予防を呼びかけるポスター



「スペイン風邪」100年前に学べ

20世紀最悪のパンデミック（感染症の世界的大流行）とされる100年前の「スペイン風邪」（1918～20年）。死者は、世界全体で2千万～4千万人、国内でも40万人前後が亡くなった。当時の内務省資料「流行性感冒」によれば、政府が呼びかけた対策は、マスク着用▼うがい▼室内の換気や掃除▼患者の隔離など。感染拡大を封じる

取り組みは、新型コロナがひろがっている今と驚くほど似ている。【朝日新聞デジタル 4月26日付】